

お茶の間学Ⅱ

生活特報部 FAX 092 (711) 9056 メール seikatsu@nishinippon-np.jp

もり 森林をつくらう 脊振の地から

佐藤和歌子

夢と誇りつなぐ場に

倒れる方向に矢を打つ手助けをします。

家に暮らすのは私でもなければ、設計者や大工さんでもなく、家族なのでから。

に違つのは「時間軸の長さ」。今、木を植えても、それが材として使えるまでには、気の遠くなるような時間がかかるわけですから。

常に「成長」を求める現代社会の中で、木材利用の好転を急ぎ求めることは容易ではないと思えます。それでも、私たちの暮らした潤いや癒やしを与えてくれる森林が、守り育てている山林所有者にとっても夢や誇りをつなげる場所であり続けるために、多くの人に国産の木材を手にする機会を持っていただければうれしいです。

伐採した木は製材し、家を建てるまで乾燥させます。その間、家族で間取りや建具を決めていくのですが、一つ一つの作業全てに関わってもらいます。その

伐採してきたのはいい思い出」と言われます。そして「予算内で、まさか国産木材100%の家を建てられると思っていなかったから、今は大満足です」とも。

を伐採できたの

連載を通じ「森林のことが知りたい」「木材のことを教えて」と思われたら、ぜひ、脊振の地に足をお運びください。モデルハウスでお待ちしております。ありがとうございます。

私たちNPO法人「森林をつくらう」のモットーは「世界に一つだけの家づくり」です。家族は、顔も生活スタイルも違えば、家族構成や敷地条件などさまざまな違いがある。それぞれの家族が快適に生活してもらえ家づくりを、一家みんなで取り組んでもらいたいと考えるからです。

近くの森林に家族で向かい、その中から好きな木を1本選んで伐採する。私たちの家づくりは、家族全員で大黒柱を選ぶことから始まります。

伐採は、その家族の大黒柱の役割。子どもたちは木を切る際、



モデルハウスの前に立つ佐藤和歌子さん

世の中にはいろいろな仕事がありますが、木を植え、森林をつくる仕事はほかの産業と決定的

◇佐藤さんが理事長を務めるNPO法人「森林をつくらう」は、佐賀県神埼市脊振町鹿路585の1にあります。電話050(3490)1783。

＝おわり